

PRESS RELEASE

報道関係各位

令和5年1月5日

北の大地の水族館

館長 山内創

イトウの日イベントのお知らせ

1月7日～10日

北の大地の水族館では、日本記念日協会への申請登録を経て2015年に1月10日をイトウの日と制定し、これまでも毎年1月10日前後に日本最大級の淡水魚イトウの認知度向上及びイトウ保護活動に関する普及啓発活動イベントを行ってまいりました。本年も下記の通りイトウの日イベントを開催いたします。

記

イベント名 イトウの日記念イベント

開催期間 令和5年1月7日(土)～1月10日(火)

内容

【「イトウ」さん特別割引】

名字に「イトウ」が含まれる方は110円でご入館いただけます。斎藤さん、内藤さんなどもOK。※入館時に氏名のわかる身分証明書をご提示下さい。

【イトウになりきろう赤い服の男性大集合】

繁殖期に体が赤くなる「イトウのオス」にちなんで、「赤色の服を着て来館された男性」に限定缶バッジをプレゼント！赤い服は上下どちらでも構いません。

【イトウに関する各種展示】

イトウがわかる解説パネルの展示を行います。めったに見られないイトウの子供の展示も行います。

【イトウの解説イトーク】

イトウの生態や現状、保全及び館内のイトウのことなど、イトウについて飼育員が語り尽くします。各日3回、10時～、12時～、14時～

【イトウの一生巨大すごろく】

厳しいイトウの一生を体験できる巨大すごろくが登場します。一回でクリアできた方には素敵なプレゼントをご用意しています。

以上

イトウとは



全長 1.5m、体重 20kg 以上になる日本最大級の淡水魚で元来は青森県や岩手県、北海道各地に生息していましたが環境破壊により生息数が激減し、2023 年現在では北海道のごく限られた一部の川や湖にしか生息せず、幻の魚とも呼ばれます。環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧 I B 類に分類され、現在も高いレベルで絶滅が危惧されている魚でもあります。イトウはイトウを守ることがその他の様々な生物を守ることにつながるアンブレラ種と呼ばれる生物と考えられており、イトウの保護とイトウ生息地の保全は北海道の多様で豊かな自然環境を守ることにつながります。当館では良好な自然環境と適切な保護保全活動により安定的な個体群が維持されている北海道幌加内町の朱鞠内湖より、朱鞠内湖淡水漁業協同組合様協力の下イトウを入手、展示しています。北の大地の水族館は北海道イトウ保護連絡協議会への加盟、朱鞠内湖淡水漁業協同組合への支援、イトウの日イベントなどを通じ、この希少淡水魚を守る活動を行っています。

お問い合わせ 北の大地の水族館 担当/山内創

TEL 0157-45-2223